

津島市民病院新改革プラン実行計画進捗表 ※達成率は小数点第2位四捨五入、①件数増加目標指標は上半期件数/年間計画件数、②件数減少目標指標は100+(目標-実績)/目標×100、③件数指標以外(%指標等)は個別算定とする。

資料④

取組3 取組2 取組1 取組0 取組項目	取組事項 No.	取組事項	指標 No.	指標名	達成指標 (計画・実績)							活動内容 (計画・実績)					担当 部署	関連 部署	実行 責任者 実行 担当者
					29年度 計画	29年度 実績	30年度 計画	30.4 実績	30.5 実績	30.6 実績	31年度 計画	29年度計画	29年度間(4月～3月)の 具体的な活動実績	30年度計画	30年度6月末までの 具体的な活動実績	31年度計画			

1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化
(1) 急性期医療への対応

★	★	1	救急受入の拡充	1 救急車受入件数 (年間)(H28年度搬送依頼件数4,968件中、4,475件)	4,490件	4,564件	4,495件	349件	351件	315件	4,500件	①お断りの翌日検証 ②受入制限の検証と対策 ③消防署と継続的な意見の交換と共有	①同左 ②同左 ③同左 ④ 救急医療委員会での検証・意見交換(毎月)【新】	①お断りの翌日検証 ②受入制限の検証と対策 ③消防署と継続的な意見の交換と共有	①同左 ②同左 ③同左	①お断りの翌日検証 ②受入制限の検証と対策 ③消防署と継続的な意見の交換と共有	救急医療部	診療局、看護局、医事課、救急医療委員会、消防本部(市)	松永安之史、犬飼博司			
				2 お断り率、件数	7.2% 360件	6.5% 332件	6.5% 330件	6.5% 25件	5.1% 20件	4.4% 15件	6.5% 330件	①お断りの翌日検証 ②受入制限の検証と対策 ③消防署と継続的な意見の交換と共有	①同左 ②同左 ③同左 ④ 救急医療委員会での検証・意見交換(毎月)【新】 ⑤ 救急患者届(お断り理由項目)の見直し及び現場へのフィードバック実施	①お断りの翌日検証 ②受入制限の検証と対策 ③消防署と継続的な意見の交換と共有 ④ 救急医療委員会での検証・意見交換(毎月)	①同左 ②同左 ③同左 ④同左	①お断りの翌日検証 ②受入制限の検証と対策 ③消防署と継続的な意見の交換と共有 ④ 救急医療委員会での検証・意見交換(毎月)						
				3 平日日勤帯お断り件数	72件	51件	50件	8件	5件	2件	45件	①お断りの翌日検証 ②受入制限の検証と対策 ③消防署と継続的な意見の交換と共有	①同左 ②同左 ③同左 ④ 具体的目標数値の設定(平日日勤帯)【新】	①お断りの翌日検証 ②受入制限の検証と対策 ③消防署と継続的な意見の交換と共有	①同左 ②同左 ③同左	①お断りの翌日検証 ②受入制限の検証と対策 ③消防署と継続的な意見の交換と共有						
				4 消防署訪問回数	5回	10回	10回	5回	0回	6回	10回	①津島消防への訪問 ②愛西消防への訪問 ③海部東部消防への訪問 ④海部南部消防への訪問 ⑤蟹江消防への訪問	①同左 ②同左 ③同左 ④同左 ⑤同左 ⑥ 院長就任あいさつ、搬送件数動向聴き取り、循環器内科の平日日勤帯の制限解除 松水Dr 大野Dr 参与同行	①津島消防への訪問 ②愛西消防への訪問 ③海部東部消防への訪問 ④海部南部消防への訪問 ⑤蟹江消防への訪問	①同左 ②同左 ③同左 ④同左 ⑤同左 ⑥福沢消防への訪問【新】(6月)	①津島消防への訪問 ②愛西消防への訪問 ③海部東部消防への訪問 ④海部南部消防への訪問 ⑤蟹江消防への訪問				経営会議	診療局	神谷里明 古田正人
				5 救急に関する検討会年間開催数	4回	13回	12回	1回	1回	1回	12回	① 救急に関する検討会実施(年4回)	① 検討会開催(救急依頼断り内容確認、市民病院・その他搬送病院データ解析、救急車受入れ体制の再確認)	①救急に関する検討会を年12回実施する	①同左(救急受け入れ体制の確認及び意見交換、小児科の事前管制確認)	①救急に関する検討会を年12回実施する				消防署(市)		
★	★	2	紹介患者の増加	1 紹介件数 (H28年度実績14,310件)	15,000件	13,833件	15,500件	1,041件	1,137件	1,175件	16,000件	① 医師訪問活動 ② 津島市地域連携推進委員会の開催 ③ 機関誌発行	① 同左 ② 同左 ③ 同左	①医師訪問活動 ②津島市地域連携推進委員会の開催 ③機関誌発行	①6月から医師同行による訪問活動実施(耳鼻咽喉科:3医院、皮膚科:5医院) ②- ③同左(4月)	①医師訪問活動 ②津島市地域連携推進委員会の開催 ③機関誌発行	地域医療センター	診療局、地域医療連携委員会	大野淳 水谷伸宏			
				2 予約件数 (H28年実績8,048件)	8,200件	7,233件	8,400件	573件	632件	667件	8,500件	① 紹介方法の見直し	① 整形外科予約枠の再開	①紹介方法の見直し	①整形外科予約方法の見直し。予約枠の決定方法の変更。	①紹介方法の見直し						
				3 訪問PR件数	300件	286件	300件	117件	10件	22件	300件	① 訪問活動 ② 訪問医療機関別での紹介、逆紹介の傾向分析	①同左 ②集計表作成(10月)	①訪問活動 ②訪問医療機関別での紹介、逆紹介の傾向分析	①同左 ②同左	①訪問活動 ②訪問医療機関別での紹介、逆紹介の傾向分析						
★	★	3	手術件数の増加	1 手術件数(手術室) (H28年度実績2,245件)	2,300件	2,134件	2,338件	166件	210件	200件	2,376件	① 手技別傾向及び課題の分析 ② 中間報告と目標値の再設定 ③ 手術室の適応の検証(必要に応じて) ④ 必要備品の適正要求・効果検証	① - ② - ③ - ④ 備品材料選定委員会へ適宜要求	①手技別実績の集計、分析 ②診療科別手術目標の設定 ③手術室の運用の検証(必要に応じて) ④必要備品の適正要求・効果検証	①- ②- ③- ④同左	①手技別実績の集計、分析 ②診療科別手術目標の設定 ③手術室の運用の検証(必要に応じて) ④必要備品の適正要求・効果検証	診療局	看護局、手術室運営委員会、備品材料選定委員会	神谷里明 川井寛			

(2) 患者の状態に応じた医療の提供

★	★	6	誤嚥性肺炎の予防	1 入院患者に占める誤嚥性肺炎続発症発生率(DPC退院症例中)(H27:1.606、H28:1.252%)	-	1.435%	1.200%	0.911%	2.068%	1.411%	1.100%	-	-	①誤嚥性肺炎予防に向けた取組について、看護局、言語聴覚師、NST委員会等を横断的に交えた検討会を実施。 ②誤嚥性肺炎予防に向けた取組の構築。	①同左(5月、6月4回) ②同左(OHAT導入検討、KTバランスチャート導入検討(4階西病棟))	①誤嚥性肺炎予防に向けた取組の実施方法について必要に応じて見直し。	看護局 リハビリテーション室	診療局、NST委員会	竹内誠、大鐘美幸 中里秀樹、各病棟看護師長
★	★	8	地域包括ケア病棟の有効活用(再掲あり)	1 病床稼働率、一日あたり入院患者数	90% 43.2人	88.5% 42人	81.2% 39人	59.1% 28.4人	56.1% 26.9人	69.9% 33.6人	90% 43.2人	① 症例検討会議 ② 他病棟開催のカンファレンスより患者情報収集	① 同左(53回) ② 同左(25回参加)	① 症例検討会議の実施	① 同左(13回)	① 症例検討会議の実施	3階西病棟	診療局、診療技術局、地域医療センター、地域包括ケアシステム担当(市)	石垣孝司 伊藤香代
				2 在宅、他院からの受け入れ数	20件	35件	35件	1件	1件	2件	35件	① 紹介患者の面談 ② ポストアキュート受け入れ ③ サブアキュートの受け入れ ④ レスバイの受け入れ	① 同左(20件) ② 同左(784件) ③ 同左(11件) ④ 同左(25件)	①紹介患者の面談 ②ポストアキュート(他院)受け入れ ③サブアキュートの受け入れ ④レスバイの受け入れ	①同左(3件) ②同左(2件) ③同左(0件) ④同左(1件)	①紹介患者の面談 ②ポストアキュート(他院)受け入れ ③サブアキュートの受け入れ ④レスバイの受け入れ			
				3 退院前後訪問実施率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	① 退院前カンファレンス ② 退院前訪問指導 ③ 退院後訪問指導	① 同左(40件) ② - ③ 同左(11件)	①退院前カンファレンスの実施	①同左(17件)	①退院前カンファレンスの実施			

津島市民病院新改革プラン実行計画進捗表

※達成率は小数点第2位四捨五入、①件数増加目標指標は上半期件数/年間計画件数、②件数減少目標指標は100+(目標-実績)/目標×100、③件数指標以外(%指標等)は個別算定とする。

資料④

取組事項No.	取組事項	指標No.	指標名	達成指標(計画・実績)						活動内容(計画・実績)					担当部署	関連部署	実行責任者 実行担当者			
				29年度計画	29年度実績	30年度計画	30.4実績	30.5実績	30.6実績	31年度計画	29年度計画		29年度間(4月～3月)の具体的な活動実績					30年度計画	30年度6月末までの具体的な活動実績	31年度計画
★ ★	9	緩和ケア病棟の有効活用	1	入棟待機患者の増加(随時)	20.0人	-	30.0人	34.0人	36.0人	37.0人	40.0人	①緩和ケア外来の運用強化 ②入棟審査会の運用強化 ③入院体制の見直し	①緩和ケア外来の運用強化 ②入棟審査会の運用強化 ③入院体制の見直し	①緩和ケア外来(4月17名、5月13名、6月16名) ②同左 ③- ④地連の協力を得て、他病院患者の面談、入院紹介数の増加	①緩和ケア外来の運用強化 ②入棟審査会の運用強化 ③入院体制の見直し	6階西病棟	診療局	高塚直能 中村清美		
			2	1日あたり入院患者数の増加	13.0人	12.9人	13.0人	11.9人	13.7人	13.0人	14.0人	①入棟審査会の運用強化 ②入院体制の見直し ③看護師または看護助手の増員	①同左 ②同左、レスパイト入院の受け入れ ③-	①入棟審査会の運用強化 ②入院体制の見直し ③看護師または看護助手の増員	①同左 ②- ③- ④地連の協力を得て、他病院患者の面談、入院紹介数の増加				①入棟審査会の運用強化 ②入院体制の見直し ③看護師または看護助手の増員	
			3	1月あたり緊急入院患者の増加	0.2人	1.2人	0.4人	4.0人	1.0人	0.0人	1.0人	①緩和ケア病棟から在宅退院患者の増加 ②地域医療者との連携強化	①緩和ケア病棟から在宅退院患者の増加 ②地域医療者との連携強化	①- ②在宅医との連携強化	①緩和ケア病棟から在宅退院患者の増加 ②地域医療者との連携強化				①緩和ケア病棟から在宅退院患者の増加 ②地域医療者との連携強化	
			4	平均在棟日数	-	-	30.00日	28.67日	35.48日	39.79日	30.00日	-	-	①レスパイト入院の受入強化	①-				①レスパイト入院の受入強化	
			5	平均待機期間	-	-	14.00日	-	-	-	14.00日	-	-	①平均待機期間の把握管理方法の構築 ②入棟審査会の運用強化	①構築中 ②同左				①待機期間の収集 ②入棟審査会の運用強化	
			6	退院患者在宅移行率	-	-	15.0%	33.0%	30.0%	0.0%	15.0%	-	-	①レスパイト入院の受入強化	①在宅医との連携強化				①レスパイト入院の受入強化	
★ ★	10	認知症患者への対応	1	院内デイサービスの開催	100.0%	91.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	①院内デイ開催(毎週木曜日) ②DSTニュースの発行 ③院内研修の企画・運営	①同左(延参加者数211名) ②同左(6月、10月) ③同左 認知症患者対応能力向上研修実施 10/13:45名・11/13:55名	①毎週木曜日に院内デイを開催する ②DSTニュースの発行 ③院内研修の企画・運営	①同左(延参加者数60名) ②- ③-	①毎週木曜日に院内デイを開催する ②DSTニュースの発行 ③院内研修の企画・運営	認知症サポートチーム運営委員会	診療局、看護局、診療技術局、高齢介護課(市)	山名知子 石垣孝司	
			2	認知症ケア加算の取得(H28年度9月～3月1,334回)	2,300回	3,877回	3,900回	342回	283回	271回	3,900回	①DSTスクリーニング ②レベルⅢ以上の患者に対し加算取得 ③認知症認定看護師の育成	①同左(5878人の入院患者に対し5063件のスクリーニング実施) ②同左(780名の患者に対し3876回加算) ③ 1名受験するも残念な結果	①DSTスクリーニング確実な実施 ②レベルⅢ以上の患者に対し加算の取得 ③認知症認定看護師の育成	①同左(1,792名の入院患者に対し1,786のスクリーニングを実施) ②同左(389名の患者に対し895回加算) ③-	①DSTスクリーニング確実な実施 ②レベルⅢ以上の患者に対し加算の取得 ③認知症認定看護師の育成				
			3	認知症サポートチーム(DST)回診の実施	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	①介入依頼に対し回診の実施	①同左(37件の回診依頼に対し100%実施)	①介入依頼に対し回診の実施	①同左(7件の介入依頼に対し100%実施)	①介入依頼に対し回診の実施				
			4	認知症初期集中支援チーム対応件数	25人	50人	60人	0人	4人	6人	70人	①チーム会議の定期開催(毎月) ②対応方法のスキルアップ ③対象者選定の基準作成	①チーム会議の定期開催 ②対応方法のスキルアップ ③対象者選定の基準作成 ④ 視察受け入れ(瀬戸市、尾張旭市)【新】	①チーム会議の定期開催(毎月) ②対応方法のスキルアップ	①同左 ②同左	①チーム会議の定期開催(毎月) ②対応方法のスキルアップ				
			5	オレンジサポーター登録者数	150人	144人	180人	145人	143人	147人	220人	①認知症の方と家族を支援する活動 ②認知症サポーター養成講座	①定例会(毎月) ②イベント時の啓発活動 ③認知症サポーター養成講座での寸劇 ④認知症徘徊者捜索模擬訓練へのお手伝い	①認知症の方と家族を支援する活動の実施 ②登録者を増やすために、認知症サポーター養成講座の実施	①同左 ②同左 ③活動発表会【新】	①認知症の方と家族を支援する活動の実施 ②登録者を増やすために、認知症サポーター養成講座の実施				
★	11	病床・診療科の再編	再編進捗状況(H32年度完了)	シミュレーション実施	適宜実施	-	-	-	適宜実施	①診療報酬改定情報の収集・対応 ②440床の必要性についての協議 ③地域医療構想調整会議への対応 ④スリム化・機能見直しのシミュレーション	①同左 ②同左 ③同左 ④同左 ⑤病床再編(51床休床、HCU設置) ⑥次年度に向けての診療科再編(常勤医師削減等)	①地域医療構想推進委員会への出席 ②最適な状況への移行(随時)	①- ②-	①最適な状況への移行(随時)	経営会議	全部署、企画政策課(市)、財政課(市)	神谷里明 古田正人			

(3) 不採算部門・特殊部門に関わる医療の提供

13	災害対応の充実	1	災害訓練の実施回数	6回	8回	6回	0回	0回	2回	6回	①広域災害救急医療情報システムの入力訓練 ②院内大規模訓練 ③避難訓練	①同左(7/26・8/30・9/5・11/29) ②同左(11/25) ③同左(3/26・3/27・3/29) ④海部地方総合防災訓練(6/3)【新】 ⑤無線訓練(9/5)【新】 ⑥研修会・講演会(7/3・7/22)【新】	①広域災害救急医療情報システムの入力訓練 ②院内大規模訓練 ③避難訓練	①- ②- ③- ④海部地方総合防災訓練(6/3)【新】 ⑤トリアージ・災害初期訓練(6/26)【新】	①広域災害救急医療情報システムの入力訓練 ②院内大規模訓練 ③避難訓練	管理課	全部署、災害対策作業部会、危機管理課(市)	渡邊幸成 栗山恭子
		2	災害マニュアルの見直し	80%	60%	100%	60%	60%	60%	100%	①事業継続計画(BCP)の作成 ②市・医師会・薬剤師会との連携を踏まえたマニュアル見直し	①作成・承認(9/29防災管理対策委員会) ②- ③被災状況報告書改訂【新】	①事業継続計画(BCP)の見直し ②市・医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携を踏まえたマニュアルの見直し	①同左(組織図の見直し) ②毎月三師会と災害時の対策会議を実施	①事業継続計画(BCP)の見直し ②市、医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携を踏まえたマニュアルの見直し			
		3	院内巡視	12回	12回	12回	1回	1回	1回	12回	①安全衛生委員会による院内巡視 ②院内危険個所の把握と対策	①同左 ②危険個所の把握	①安全衛生委員会による院内巡視 ②院内危険個所の把握と対策	①同左(4月6西病棟・5月5西病棟・6月4西病棟) ②安全衛生委員会による巡視時にあわせて実施	①安全衛生委員会による院内巡視 ②院内危険個所の把握と対策			

津島市民病院新改革プラン実行計画進捗表 ※達成率は小数点第2位四捨五入、①件数増加目標指標は上半期件数/年間計画件数、②件数減少目標指標は100+(目標-実績)/目標×100、③件数指標以外(%指標等)は個別算定とする。

資料④

取組事項No.	取組事項	指標No.	指標名	達成指標(計画・実績)							活動内容(計画・実績)					担当部署	関連部署	実行責任者 実行担当者		
				29年度計画	29年度実績	30年度計画	30.4実績	30.5実績	30.6実績	31年度計画	29年度計画		29年度間(4月～3月)の具体的な活動実績		30年度計画				30年度6月末までの具体的な活動実績	31年度計画
		4	災害時優先供給契約数	3件	0件	3件	0件	0件	0件	6件	①受入の可能性について検討 ②受入に要する人員・設備・費用等の検証	①同左 ②-	①受入に要する人員・設備・費用等の検証 ②実施の可否について決定 ③(実施の場合)設備計画、人員募集等実施準備	①同左 ②- ③-	①(実施の場合)実施					

(4) 在宅医療への貢献

★	★	8	地域包括ケア病棟の有効活用(再編)	1	病床稼働率、一日あたり入院患者数	90%	88.5%	81.2%	59.1%	56.1%	69.9%	90%	①症例検討会議 ②他病棟開催のカンファレンスより患者情報収集	①同左(53回) ②同左(25回参加)	①症例検討会議の実施	①同左(13回)	①症例検討会議の実施	3階西病棟	診療局、診療技術局、地域医療センター、地域包括ケアシステム担当(市)	石垣孝司 伊藤香代
				2	在宅、他院からの受け入れ数	20件	35件	35件	1件	1件	2件	35件	①紹介患者の面談 ②ポストアキュート受け入れ ③サブアキュートの受け入れ ④レスパイトの受け入れ	①同左(20件) ②同左(784件) ③同左(1件) ④同左(25件)	①紹介患者の面談 ②ポストアキュート(他院)受け入れ ③サブアキュートの受け入れ ④レスパイトの受け入れ	①同左(3件) ②同左(2件) ③同左(10件) ④同左(1件)	①紹介患者の面談 ②ポストアキュート(他院)受け入れ ③サブアキュートの受け入れ ④レスパイトの受け入れ			
				3	退院前後訪問実施率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	①退院前カンファレンス ②退院前訪問指導 ③退院後訪問指導	①同左(40件) ②- ③同左(11件)	①退院前カンファレンスの実施	①同左(17件)	①退院前カンファレンスの実施			
★	★	14	在宅療養患者の受け入れ(後方支援)	1	在宅療養後方支援病院登録患者の新規登録数	20件	38件	20件	1件	0件	5件	20件	①前制度からのスムーズ移行 ②市外医療機関への周知 ③近隣病院との連携の検討	①同左 ②訪問活動、連携票発送(7月)、チラシ発送(10月) ③-	①市外への周知広報活動 ②近隣病院との協力	①同左 ②-	①市外への周知広報活動 ②近隣病院との協力	地域医療センター	看護局、地域医療連携委員会、在宅医療サポートセンター	中村あき子 水谷伸宏
				2	在宅療養後方支援病院連携数	15件	15件	15件	13件	13件	14件	25件	①訪問活動	①同左	①訪問活動	①同左	①訪問活動			
★	★	15	円滑な連携による退院支援	1	介護支援連携指導料 H28実績 797件	830件	805件	830件	84件	88件	86件	830件	①MSW・看護師による退院困難な要因を有する患者への早期介入 ②MSW・看護師とケアマネとの介護支援連携強化	①同左(MSW介入件数164件増) ②ケアマネへのICT利用啓蒙(29件)	①MSW・看護師による退院困難な要因を有する患者への早期介入 ②MSW・看護師とケアマネとの介護支援連携強化	①同左 ②同左	①MSW・看護師による退院困難な要因を有する患者への早期介入 ②MSW・看護師とケアマネとの介護支援連携強化	地域医療センター	診療局、看護局	中村あき子 福谷大助
				2	退院時共同指導料 H28実績 24件	30件	37件	40件	12件	6件	12件	40件	①退院前カンファレンスの実施 ②在宅医療チームとの顔の見える関係づくり	①同左(前年度比9件増) ②居宅連会議(5月)	①退院前カンファレンスの実施 ②在宅医療チームとの顔の見える関係づくり	①同左 ②居宅連会議(5月)	①退院前カンファレンスの実施 ②在宅医療チームとの顔の見える関係づくり			
				3	退院前後訪問件数 H28実績 50件	60件	55件	60件	6件	4件	0件	60件	①退院前カンファレンスの実施 ②在宅医療チームとの顔の見える関係づくり ③訪問看護ステーションとの連携	①同左(カンファレンス開催数前年度比9件増) ②居宅連 ③66件(H28 74件/年)	①退院前カンファレンスの実施 ②在宅医療チームとの顔の見える関係づくり ③訪問看護ステーションとの連携	①同左 ②同左 ③同左	①退院前カンファレンスの実施 ②在宅医療チームとの顔の見える関係づくり ③訪問看護ステーションとの連携			
★	★	16	訪問看護の充実	1	訪問件数	4,500件	4,456件	4,700件	392件	424件	421件	4,700件	①病院看護師・MSWとの連携強化 ②院内・院外へステーションのPR	①同左 ②広報誌に事業内容を掲載	①病院看護師・MSWとの連携強化 ②院内・院外へステーションのPR ③経営戦略の骨子策定	①②津島市居宅介護支援事業者連絡協議会にて、「訪問看護の必要性アセスメントシート」を配布(5月) ③-	①病院看護師・MSWとの連携強化 ②院内・院外へステーションのPR ③経営戦略の策定	看護局	訪問看護ステーション、地域医療センター	石垣孝司 松山みどり
				2	看取り件数	15件	12件	15件	0件	1件	3件	15件	①在宅看取りに対するシステム構築 ②強化型への移行検討	①津島市医師会、海部医師会と在宅看取りパンフレットの作成、周知 ②-	①在宅看取りに対するシステム構築 ②(可能な場合)強化型へ移行	①- ②-	①強化型として運営			

(5) 住民の健康づくり強化

★	★	17	地域医療を守り育てる取組の推進、保健教育	1	サポーターの会参加回数	12回	12回	12回	1回	1回	1回	12回	①サポーターの会参加	①同左	①サポーターの会参加	①同左	①サポーターの会参加	地域医療センター	看護局、地域医療連携委員会、健康推進課(市)	中村あき子 水谷伸宏
				2	公開講座・お出かけ講座	27回	27回	30回	0回	1回	6回	30回	①公開講座開催 ②お出かけ講座	①同左(12回) ②同左(12回)	①公開講座開催 ②お出かけ講座	①同左 ②同左	①公開講座開催 ②お出かけ講座			
				3	イベント・会議参加	16回	12回	16回	0回	2回	1回	4回12回	①探検ツアー開催 ②健康21会議参加 ③イベント参加	①同左(8月10日)2回 ②同左(5・6・7・9月10月11月)6回 ③同左(5月藤まつり・10月スポーツフェス)2回	①探検ツアー開催 ②健康21会議参加 ③イベント参加	①8月実施予定 ②同左 ③同左(5月藤まつり)	①探検ツアー開催 ②健康21会議参加 ③イベント参加			
				4	講話実施回数	3回	3回	3回	0回	0回	0回	3回	①糖尿病予防し啓蒙成講座での病院職員(腎臓内科医師、皮膚科医師、視能訓練士)による糖尿病に関する講話	①同左	①糖尿病予防し啓蒙成講座にて、腎臓内科医師、皮膚科医師、視能訓練士が、糖尿病に関する講話を実施。	①糖尿病予防し啓蒙成講座の10月開催に向け、参加者募集を地域や事業での周知。	①糖尿病予防し啓蒙成講座にて、腎臓内科医師、皮膚科医師、視能訓練士が、糖尿病に関する講話を実施。			

津島市民病院新改革プラン実行計画進捗表

※達成率は小数点第2位四捨五入、①件数増加目標指標は上半期件数/年間計画件数、②件数減少目標指標は100+(目標-実績)/目標×100、③件数目標以外(%指標等)は個別算定とする。

資料④

取組事項No.	取組事項	指標No.	指標名	達成指標(計画・実績)							活動内容(計画・実績)					担当部署	関連部署	実行責任者 実行担当者
				29年度計画	29年度実績	30年度計画	30.4実績	30.5実績	30.6実績	31年度計画	29年度計画	29年度間(4月～3月)の具体的な活動実績	30年度計画	30年度6月末までの具体的な活動実績	31年度計画			

2 経営の効率化

(1) 目指すべき方針・目標等の設定・共有

18	定員管理計画の策定	1	定員管理計画策定	計画策定	医療職の定員数案の作成	計画策定	-	-	県内公立病院の状況確認	適宜見直し	①県内公立病院の状況確認 ②規模・機能に応じた必要人数の検討 ③定員管理計画策定	①同左。業務実績についても可能な限りの状況を確認 ②同左。医療技術職の必要数を試算。 ③職種別定員数の案を作成	①県内公立病院の状況確認 ②代替職員等による見直し検討 ③必要に応じ計画見直し	①公立病院の会議資料等で各病院の状況把握 ②産休・退職等に伴う減員を臨時職員にて補充 ③-	①県内公立病院の状況確認 ②必要に応じ計画見直し	管理課	全部署、人事秘書課(市)	古田正人 渡邊幸成
19	院内会議の運営	1	会議結果共有率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	①経営会議開催 ②経営改革推進委員会開催 ③常置委員会の管理 ④院内会議のあり方の見直し(必要に応じて)	①同左 ②同左 ③同左 ④-	①経営会議開催 ②経営改革推進委員会開催 ③常置委員会の管理 ④院内会議のあり方の見直し(必要に応じて)	①同左 ②同左 ③同左 ④-	①経営会議開催 ②経営改革推進委員会開催 ③常置委員会の管理 ④院内会議のあり方の見直し(必要に応じて)	経営企画課	全部署	吉田康浩 塩調千洋
20	データ分析の促進	1	分析情報の院内共有率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	①月次実績値の報告 ②診療科別分析・周知 ③院長・診療科長面談資料の作成 ④診療科ヒアリング	①同左 ②同左 ③同左 ④同左	①月次実績値の報告 ②診療科別分析・周知 ③診療科ヒアリング	①同左 ②同左 ③-	①月次実績値の報告 ②診療科別分析・周知 ③診療科ヒアリング	経営企画課	医事課	吉田康浩 桑原和之

(2) 医療従事者の確保・育成

* 21	医師の確保	1	不足する診療科医師の確保	年度末医師数循環器:2.5人 整形:4人 脳外:3人	循環器:2.5人 整形:4.5人 脳外:3人	年度末医師数循環器:4人 整形:5人 脳外:3人	市長・院長による大学訪問(4大学21部署)	-	市と事務局長による大学へのPR訪問(4大学23部署)	年度末医師数循環器:4人 整形:5人 脳外:3人	①関係大学医局への訪問PR ②診療科長との調整	①同左(名古屋大学延66回(部署)、愛知医科大学2回、藤田保健衛生大学6回(部署)、名古屋市立大学3回) ②院長と各診療科長との面談	①関係大学医局への訪問PR ②診療科長との調整 ③診療科別医師定数計画【仮】の骨子策定 ④常勤麻酔科医の招へい	①関係大学へのあいさつ・訪問PR(4月) ②院長による各診療科面談実施 ③- ④-	①関係大学医局への訪問PR ②診療科長との調整 ③診療科別医師定数計画【仮】の策定 ④常勤麻酔科医の招へい	管理課	診療局、地域医療センター	神谷里明 古田正人
		2	研修医の確保	フルマッチ	6人(フルマッチ)	フルマッチ	-	-	-	フルマッチ	①医学生向け就職説明会参加 ②医学生の病院見学	①同左(採用試験では定員6名のところに13名の受験申込) ②同左(80人参加)	①医学生向け就職説明会への参加 ②医学生の病院見学実施	①MECマッチングフェア(4/15・48名)、東海北陸地区臨床研修病院合同説明会(5/5・68名) ②同左(4月2名、5月13名、6月10名、計25名)	①医学生向け就職説明会への参加 ②医学生の病院見学実施	管理課	看護局、診療技術局	渡邊幸成 栗山恭子
	募集人員に対する採用率	1	募集人員に対する採用率	100.0%	学校訪問18校 実習先説明会1校	100.0%	-	-	-	100.0%	①学校訪問 ②業者就職ガイダンス参加 ③ホームページの充実 ④実習先就職説明会に参加	①同左(過去3年間の新人の卒業校や新設校等を考慮し17校訪問(5/29、5/30、6/1、6/2、6/5)) ②-(平成30年度の採用試験が終了したため前期の参加はなし) ③ホームページ更新(5月) ④同左(中京学院大学3年生17名に説明(9/29)) 【参考】 病棟再編もあり、今年度の採用は4月で終了。来年度の最終的に採用人数は6名となったが、当初の25名募集のところに30名の受験申込があったことから、募集活動は順調に推移。	①学校訪問 ②就職ガイダンス参加 ③ホームページの充実 ④実習先就職説明会に参加	①- ②- ③同左(インターンシップ5月更新・採用情報6月更新) ④-	①学校訪問 ②業者就職ガイダンス参加 ③ホームページの充実 ④実習先就職説明会に参加	管理課	看護局、診療技術局	渡邊幸成 栗山恭子
		2	新人看護師離職率	5%未満	3.7%	5%未満	0.0%	0.0%	0.0%	5%未満	①新人看護職員臨床研修制度の運用 ②臨床心理士によるメンタルサポート	①同左 ②臨床心理士による面談	①新人看護職員臨床研修制度の運用 ②臨床心理士によるメンタルサポート	①同左 ②同左	①新人看護職員臨床研修制度の運用 ②臨床心理士によるメンタルサポート	管理課	看護局、診療技術局	渡邊幸成 栗山恭子
		3	医療技術職募集パンフレット送付	10校	5校	10校	0校	9校	0校	10校	①大学等へのパンフレットの送付	①同左 ②病院見学のフォローアップ(随時実施)【新】	①大学等へのパンフレットの送付	①臨床検査技師募集5校、臨床工学技士募集4校へ送付	①大学等へのパンフレットの送付	管理課	看護局、診療技術局	渡邊幸成 栗山恭子

津島市民病院新改革プラン実行計画進捗表

※達成率は小数点第2位四捨五入、①件数増加目標指標は上半期件数/年間計画件数、②件数減少目標指標は100+(目標-実績)/目標×100、③件数指標以外(%指標等)は個別算定とする。

資料④

取組事項No.	取組事項	指標No.	指標名	達成指標(計画・実績)							活動内容(計画・実績)					担当部署	関連部署	実行責任者 実行担当者			
				29年度計画	29年度実績	30年度計画	30.4実績	30.5実績	30.6実績	31年度計画	29年度計画		29年度間(4月～3月)の具体的な活動実績		30年度計画				30年度6月末までの具体的な活動実績	31年度計画	
22	看護師・医療技術職員の確保・育成	4	病院見学・インターンシップ受入率	100.0%	病院見学1/1 インターンシップ1/2	100.0%	病:0件 イ:0件	病:1件 イ:0件	病:1件 イ:0件	100.0%	①上記機会での積極的な広報 ②予定日以外での調整・受け入れ ③インターンシップ受け入れ後にお礼状(はがき)発送(受入部署から)	①同左 ②予定日以外での調整・受入 ③メールで学生さんからお礼状が届いたため、メールでお礼状を送った	①上記機会での積極的な広報 ②予定日から外れても調整し受け入れ ③インターンシップ受け入れ後に相手に合わせてお礼状を出す。(メール・受入部署からのがき等)	①ホームページの案内の更新を行った ②病院見学5月に1件あり、次年度の採用につながった ③インターンシップの申し込みなし	①上記機会での積極的な広報 ②予定日から外れても調整し受け入れ ③インターンシップ受け入れ後に相手に合わせてお礼状を出す。(メール・受入部署からのがき等)	看護局	管理課	大鐘美幸 川上睦子、石垣孝司、森香津子			
		5	看護実習生受入校数	8校	5校	10校	1校	1校	1校	10校	①看護実習生受け入れ(津島市立看護専門学校、中京学院大学、名鉄看護専門学校、相山女学園大学、岐阜保健短期大学、弥富看護専門学校、名古屋学芸大学短期大学部、愛知みずほ大学短期大学部)	①看護実習生受け入れ(津島市立看護専門学校、中京学院大学、名鉄看護専門学校、相山女学園大学、岐阜保健短期大学、弥富看護専門学校、養護教諭の実習の受け入れ(名古屋学芸大学短期大学部、愛知みずほ大学短期大学部)行った	津島市立看護専門学校 中京学院大学 岐阜保健短期大学 弥富看護専門学校 修文大学 研伸大学 名古屋学芸大学短期大学部 愛知みずほ大学短期大学部	①看護実習生受け入れ(津島市立看護専門学校)	津島市立看護専門学校 中京学院大学 岐阜保健短期大学 弥富看護専門学校 修文大学 研伸大学 名古屋学芸大学短期大学部 愛知みずほ大学短期大学部	看護局	管理課	大鐘美幸 川上睦子、石垣孝司、森香津子			
		6	看護局院内研修企画 延参加者数	79企画 960人	57企画 1146人	56企画 延参加者770人	3(12)企画 48(78)人	3企画 77人	6企画 103名	60企画 延参加者819人	①新人看護研修企画運営(25名×29企画) ②ラダー別研修企画運営(15名×26企画) ③時間外学習会企画運営(30名×5企画)	①同左(34企画) ②同左(23企画) ③同左(12企画)	①新人看護研修企画運営(6名×24企画) ②ラダー別研修企画運営(15名×22企画) ③時間外学習会企画運営(30名×10企画)	①新人看護研修企画運営(3企画:18名、新人オリエンテーション12企画:72名) ②ラダー別研修企画運営(7企画:126名) ③時間外学習会企画運営(3企画:83名)	①新人看護研修企画運営(25名×29企画) ②ラダー別研修企画運営(15名×26企画) ③時間外学習会企画運営(30名×5企画)	看護局	管理課	大鐘美幸 川上睦子、石垣孝司、森香津子			
		7	キャリアラダー新規 認定看護師数 (H29年度:キャリアラダー認定率)	ラダーIV10% ラダーIII30%	新規取得 ラダーI 23人 ラダーII 76人 ラダーIII 12人 ラダーIV 3人	0	0	0	0	新規取得 ラダーI 6人 ラダーII 25人 ラダーIII 15人 ラダーIV 5人	①新キャリアラダー説明会開催 ②ラダーI・II・IIIの部署認定 ③ラダーIVの看護局認定審査	②ラダーI 23人ラダーII 76人ラダーIII 12人を認定した。 ③申請書類の審査を行い、ラダーIV 3人を認定した。	①ラダーI・II・IIIの部署申請 ②ラダーIV・V看護局認定審査	①- ②-	①ラダーI・II・IIIの部署申請 ②ラダーIV・V看護局認定審査	看護局	管理課	大鐘美幸 川上睦子、石垣孝司、森香津子			
		8	認定看護師育成	3人	3人	0人	0人	0人	0人	感染1人	①認定看護師の育成(緩和ケア、脳卒中リハビリテーション看護、救急看護)	①同左	①認知症看護 ②感染管理 ③認定看護管理者	①- ②- ③-	①認知症看護 ②糖尿病看護	看護局	管理課	大鐘美幸 川上睦子、石垣孝司、森香津子			
		9	認定薬剤師育成	4人	3人	6人	0人	0人	0人	3人	①がん薬物療法認定薬剤師2名(29年6月申請予定者2名) ②褥瘡学会認定薬剤師1名(29年2月申請済1名) ③感染制御認定薬剤師1名(29年8月申請予定者1名)	①同左 ②- ③同左	①がん薬物療法認定薬剤師1名(30年6月申請予定者1名) ②外来がん治療認定薬剤師1名(1名【新】) ③腎臓病療養指導士2名 ④認定実務実習指導薬剤師1名 ⑤医療薬学会認定薬剤師1名	①- ②- ③- ④- ⑤-	①認定実務実習指導薬剤師1名 ②感染制御認定薬剤師1名 ③緩和薬物療法認定薬剤師1名	看護局	管理課	大鐘美幸 川上睦子、石垣孝司、森香津子			
		10	認定薬剤師の維持	17人	21人	18人	18人	18人	18人	22人	①がん薬物療法認定薬剤師1名 ②感染制御認定薬剤師1名 ③抗菌化学療法認定薬剤師1名 ④栄養サポートチーム専門療法士1名 ⑤日本糖尿病療養指導士2名 ⑥救急認定薬剤師1名 ⑦漢方薬・生薬認定薬剤師1名 ⑧認定実務実習指導薬剤師5名 ⑨医療薬学会指導薬剤師・認定薬剤師1名 ⑩日本病院薬剤師会生涯教育認定薬剤師3名	①がん薬物療法認定薬剤師2名(1名【新】) ②感染制御認定薬剤師2名(1名【新】) ③同左 ④同左 ⑤同左 ⑥同左 ⑦同左 ⑧同左 ⑨同左 ⑩同左 ⑪緩和薬物療法認定薬剤師1名【新】 ⑫日本褥瘡学会認定師1名【新】	①がん薬物療法認定薬剤師2名 ②感染制御認定薬剤師1名 ③栄養サポートチーム専門療法士1名 ④日本糖尿病療養指導士2名 ⑤救急認定薬剤師1名 ⑥漢方薬・生薬認定薬剤師1名 ⑦緩和薬物療法認定薬剤師1名 ⑧日本褥瘡学会認定師1名 ⑨認定実務実習指導薬剤師5名 ⑩医療薬学会指導薬剤師・認定薬剤師1名 ⑪日本病院薬剤師会生涯教育認定薬剤師2名	①がん薬物療法認定薬剤師2名 ②感染制御認定薬剤師1名 ③栄養サポートチーム専門療法士1名 ④日本糖尿病療養指導士2名 ⑤救急認定薬剤師1名 ⑥漢方薬・生薬認定薬剤師1名 ⑦緩和薬物療法認定薬剤師1名 ⑧日本褥瘡学会認定師1名 ⑨認定実務実習指導薬剤師5名 ⑩医療薬学会指導薬剤師・認定薬剤師1名 ⑪日本病院薬剤師会生涯教育認定薬剤師2名	①がん薬物療法認定薬剤師3名 ②外来がん治療認定薬剤師1名 ③感染制御認定薬剤師1名 ④栄養サポートチーム専門療法士1名 ⑤救急認定薬剤師1名 ⑥漢方薬・生薬認定薬剤師1名 ⑦緩和薬物療法認定薬剤師1名 ⑧日本褥瘡学会認定師1名 ⑨認定実務実習指導薬剤師6名 ⑩医療薬学会指導薬剤師・認定薬剤師2名	薬剤室	管理課	竹内誠 長谷川雅哉			
		11	専門性の高いエコー技士の育成(腹部、乳腺、心臓、血管、甲状腺の5部署)	5人(各1人)	4人	専門性を高める心臓エコーを1名	-	-	-	認定技師所得をめざす	①メンバーの洗い出し ②実施方法の検討	①同左 ②同左	①専門性を重点した超音波検査技師を育成	①-	①専門性を重点した超音波検査を行う。	臨床検査室	管理課	竹内誠 勝田孝典			

津島市民病院新改革プラン実行計画進捗表

※達成率は小数点第2位四捨五入、①件数増加目標指標は上半期件数/年間計画件数、②件数減少目標指標は100+(目標-実績)/目標×100、③件数指標以外(%指標等)は個別算定とする。

資料④

取組事項No.	取組事項	指標No.	指標名	達成指標(計画・実績)							活動内容(計画・実績)					担当部署	関連部署	実行責任者 実行担当者
				29年度計画	29年度実績	30年度計画	30.4実績	30.5実績	30.6実績	31年度計画	29年度計画	29年度間(4月～3月)の具体的な活動実績	30年度計画	30年度6月末までの具体的な活動実績	31年度計画			
	24	専門性を有する事務職員の確保・育成	1 専門性を有する事務職員の採用内定数	-	-	2人	-	-	-	1人			①必要な人材の精査 ②採用試験の実施	①- ②診療情報管理士募集開始	①必要な人材の精査 ②採用試験の実施	事務局	管理課、医事課、経営企画課、地域医療センター	古田正人 渡邊幸成、前田知史、吉田康浩
			2 専門研修の受講回数(延回数)	-	-	65回	0回	0回	8回	70回			①研修会の情報収集 ②事務職員への研修情報の提供 ③研修会への参加	①同左(適宜実施) ②同左(適宜情報共有) ③同左	①研修会の情報収集 ②事務職員への研修情報の提供 ③研修会への参加			
	25	手当の見直し	1 病院手当の見直し進捗状況(再掲あり)	全部改正 例規改正	素案を 基にシ ミュレ ーション 実施	全部改正 例規改正	-	-	-	適宜見直し	① 現行の支給内容の見直し ② 病院手当の例規整備	① 作成した見直し素案を基に前年度実績を加味したシミュレーション ② -	① 現行の支給内容の見直し ② MAの専門性向上による医師の負担軽減	① 検討中 ② -	① 制度の見直し(必要に応じ)	管理課	全部署、人事秘書課(市)	古田正人 渡邊幸成
	26	医療現場の負担軽減	1 医師事務作業補助者(MA)人数	8人	7人	7人	7人	7人	7人	7人	① MAの採用 ② MAの専門性向上による医師の負担軽減	① - ② 研修参加	① MAの採用 ② MAの専門性向上による医師の負担軽減	① - ② -	① MAの採用 ② MAの専門性向上による医師の負担軽減	医事課	診療局	前田知史 犬飼博司
2 看護助手人数			50人	36人	50人	34人	34人	34人	50人	① 看護助手の採用 ② 任期付職員への登用制度活用による職員の定着化	① 募集情報掲載(ホームページ・ハローワーク・コンサヤの情報コーナー等) ② 任期付職員登用試験実施(3名)	① 看護助手の採用 ② 任期付職員への登用制度活用による職員の定着化	① 同左 ② 同左	① 看護助手の採用 ② 任期付職員への登用制度活用による職員の定着化	管理課	全部署	渡邊幸成 栗山恭子	
3 時間外勤務縮減率(再掲あり)			前年度比 △19.2% △10%	月60時間以上の時間外勤務職員数0人	3人	3人	0人	月60時間以上の時間外勤務職員数0人	① フィールドイノベーションを活用した業務の見直し ② 作業手順の見直しによる業務の効率化 ③ ワークライフバランスの推進	① 同左 ② 時間外勤務縮減に対する認識を共有 ③ -	① フィールドイノベーションを活用した業務の見直し ② 作業手順の見直しによる業務の効率化 ③ ワークライフバランスの推進(平成29年度の時間外勤務時間数を維持したまま、業務の偏りを無くす)	① 同左 ② 同左 ③ 同左	① 同左 ② 同左 ③ 同左	① フィールドイノベーションを活用した業務の見直し ② 作業手順の見直しによる業務の効率化 ③ ワークライフバランスの推進(平成29年度の時間外勤務時間数を維持したまま、業務の偏りを無くす)				
	27	心のケアの充実	1 対象者に対する心理士等の面談実施率	100.0%	95人/95人	100.0%	5/5	5/5	9/9	100.0%	① 臨床心理士による新規採用職員との面談 ② 臨床心理士による相談窓口の設置 ③ ストレスチェック	① 同左 ② 同左(希望者と面談実施) ③ 同左	① 臨床心理士による新規採用職員との面談 ② 臨床心理士による相談窓口の設置 ③ ストレスチェックの実施	① 同左 ② 同左(希望者と面談実施) ③ -	① 臨床心理士による新規採用職員との面談 ② 臨床心理士による相談窓口の設置 ③ ストレスチェックの実施	管理課	全部署	渡邊幸成 栗山恭子

(3) 収入増加・確保対策

*	*	28	施設基準取得の向上	1 新規、改定および上位届出数	4件	10件	11件	9件	3件	1件	5件	① 排尿自立指導料、在宅療養後方支援病院の取得 ② 体制強化加算、病理診断管理加算等 ③ 超急性期脳卒中加算、看護補助者配置加算、ハイケアユニット入院医療管理料1、看護職員夜間配置加算、後発医薬品使用体制加算1、遺伝学的検査【新】	① 同左 ② 体制強化加算1、病理診断管理加算 ③ 超急性期脳卒中加算、看護補助者配置加算、ハイケアユニット入院医療管理料1、看護職員夜間配置加算、後発医薬品使用体制加算1、遺伝学的検査【新】	① 取得可能な施設基準を検討および体制の整備 ② 診療報酬改定に伴う新規施設基準の取得	① 同左 ② 同左	① 取得可能な施設基準を検討および体制の整備	医事課	全部署	神谷里明 前田知史
*	*	29	診療報酬算定の向上	1 情報提供回数	12回	12回	12回	1回	1回	1回	12回	① 診療報酬適正化委員会の毎月開催(診療局、診療技術局および看護局と査定内容などの情報の共有) ② 平成30年度診療報酬改定の情報収集	① 同左 ② - ③ 退院時処方7日から3日へと運用変更【新】 ④ 平成30年度診療報酬改定後の情報収集	① 毎月診療報酬適正化委員会を開催し、診療局、診療技術局および看護局と査定内容などの情報を共有する。 ② 診療報酬改定において、変更される施設基準の精査および新規取得できる施設基準に関して検討する。	① 同左 ② 同左	① 毎月診療報酬適正化委員会を開催し、診療局、診療技術局および看護局と査定内容などの情報を共有する。 ② 平成32年度時の診療報酬改定において、情報収集に努める。	医事課	診療報酬適正化委員会、経営企画課	前田知史 佐藤孝佳
	2 減点率			0.2%	0.234%	0.200%	0.126%	0.142%	0.248%	0.200%	① レセプトチェックシステムなどを活用した減点率の低下 ② 1患者1病名の運用検討(レセプト点検作業の軽減及びチェックシステムを活用した精査の向上が見込める) ③ 委託業者への指導、意見交換	① 同左 ② - ③ - ④ 同様案件で査定にならないために関連部署への周知【新】	① レセプトチェックシステムなどを活用し、減点率の低下に努める。 ② 検討した結果によっては、1患者1病名の運用を開始する。 ③ 委託業者への指導、意見交換	① 同左 ② レセプト点検時に、「他科で既に行っている病名は付けない」という運用に変更。これにより検討していた「1患者1病名」の運用と同等の成果が期待できる。レセプトの審査に関しては、どの科に病名が付いていれれば良いので、返戻・減点等の心配はない。 ③ 同左	① レセプトチェックシステムなどを活用し、減点率の低下に努める。 ② 検討した結果によっては、1患者1病名の運用に関して、評価及び精査する。 ③ 委託業者への指導、意見交換				
	3 院内勉強会の開催回数			2回	2回	2回	0回	0回	0回	2回	① 平成30年度診療報酬改定における勉強会	① 平成30年度診療報酬改定に関する勉強会を2回開催。	平成30年度時の診療報酬改定後の勉強会。	-	平成32年度時の診療報酬改定における勉強会。				
*	*	30	CT・MRIの利用促進	1 CT件数	27,000件	27,210件	27,500件	2,202件	2,353件	2,303件	28,000件	① 当日至急への対応 ② 急な検査病診依頼への対応 ③ 月・診療科・医師ごとの件数を放射線科部長へ報告(情報共有)	① 同左 ② 同左 ③ 同左	① 当日至急にすべて対応する。 ② 急な検査病診依頼にも対応する。 ③ 月・診療科、医師ごとの件数を放射線科部長へ報告して情報共有する。	① 当日至急にすべて対応した。 ② 急な検査病診依頼にも対応した。 ③ 月・診療科、医師ごとの件数を放射線科部長へ報告して情報共有した。	① 当日至急にすべて対応する。 ② 急な検査病診依頼にも対応する。 ③ 月・診療科、医師ごとの件数を放射線科部長へ報告して情報共有する。	放射線室	診療局	竹内誠 市橋達也
	2 MRI件数			9,400件	9,317件	9,500件	748件	825件	796件	9,600件	① 当日至急への対応 ② 急な検査病診依頼への対応 ③ 月・診療科・医師ごとの件数を放射線科部長へ報告(情報共有)	① 同左 ② 同左 ③ 同左	① 当日至急にすべて対応する。 ② 急な検査病診依頼にも対応する。 ③ 月・診療科、医師ごとの件数を放射線科部長へ報告して情報共有する。	① 当日至急にすべて対応した。 ② 急な検査病診依頼にも対応した。 ③ 月・診療科、医師ごとの件数を放射線科部長へ報告して情報共有した。	① 当日至急にすべて対応する。 ② 急な検査病診依頼にも対応する。 ③ 月・診療科、医師ごとの件数を放射線科部長へ報告して情報共有する。				

津島市民病院新改革プラン実行計画進捗表

※達成率は小数点第2位四捨五入、①件数増加目標指標は上半期件数/年間計画件数、②件数減少目標指標は100+(目標-実績)/目標×100、③件数指標以外(%指標等)は個別算定とする。

資料④

取組事項No.	取組事項	指標No.	指標名	達成指標(計画・実績)							活動内容(計画・実績)					担当部署	関連部署	実行責任者 実行担当者		
				29年度計画	29年度実績	30年度計画	30.4実績	30.5実績	30.6実績	31年度計画	29年度計画	29年度間(4月～3月)の具体的な活動実績	30年度計画	30年度6月末までの具体的な活動実績	31年度計画					
★	★	31	リハビリ単位数の確保	1	理学療法士(PT)単位数(常勤換算1人1日平均)	18単位(現場統括者除く)	18.1	18.0	17.1	16.5	16.7	18.0	① 訓練以外業務の効率化による訓練時間の拡充	① 同左(朝会・カンファレンスの出席頻度の調整による訓練時間の確保)	① 訓練以外業務の効率化を図り、訓練時間を拡充する。	① リハビリシステム業務担当者を主任から主幹へ変更した。回復期病棟のPT平均単位数	① 訓練以外業務の効率化を図り、訓練時間を拡充する。	リハビリテーション室	診療局	竹内誠 中里秀樹
				2	理学療法士(PT)年間平均職員数(常勤換算)	-	-	17.8人	17.8人	17.8人	17.8人	18.8人	-	-	① 職員1人当たり単位数及び年間総単位数の双方を達成していく。	① 同左	① 職員1人当たり単位数及び年間総単位数の双方を達成していく。			
				3	理学療法士(PT)年間総単位数	-	-	71,225	6,025	6,320	6,125	75,226	-	-	① 訓練以外業務の効率化を図り、訓練時間を拡充する。	① 同左	① 訓練以外業務の効率化を図り、訓練時間を拡充する。			
				4	作業療法士(OT)単位数(常勤換算1人1日平均)	18単位(現場統括者除く)	17.8	18.0	16.8	16.7	16.7	18.0	① 訓練以外業務の効率化による訓練時間の拡充	① 同左(朝会・カンファレンスの出席頻度の調整による訓練時間の確保)	① 訓練以外業務の効率化を図り、訓練時間を拡充する。	① 同左	① 訓練以外業務の効率化を図り、訓練時間を拡充する。			
				5	作業療法士(OT)年間平均職員数(常勤換算)	-	-	11.5人	11.5人	11.5人	11.5人	11.5人	-	-	① 職員1人当たり単位数及び年間総単位数の双方を達成していく。	① 同左	① 職員1人当たり単位数及び年間総単位数の双方を達成していく。			
				6	作業療法士(OT)年間総単位数	-	-	46,016	3,780	3,970	3,824	46,016	-	-	① 訓練以外業務の効率化を図り、訓練時間を拡充する。	① 同左	① 訓練以外業務の効率化を図り、訓練時間を拡充する。			
				7	言語聴覚士(ST)単位数(摂食機能療法1.5単位換算)(常勤換算1人1日平均)	15単位(現場統括者除く)	17.9	18.0	19.4	19.0	19.4	18.0	① 訓練以外業務の効率化による訓練時間の拡充	① 同左(朝会・カンファレンスの出席頻度の調整による訓練時間の確保)	① 訓練以外業務の効率化を図り、訓練時間を拡充する。	① 同左	① 訓練以外業務の効率化を図り、訓練時間を拡充する。			
				8	言語聴覚士(ST)年間平均職員数(常勤換算)	-	-	6.0人	6.0人	6.0人	6.0人	6.0人	-	-	① 職員1人当たり単位数及び年間総単位数の双方を達成していく。	① 同左	① 職員1人当たり単位数及び年間総単位数の双方を達成していく。			
				9	言語聴覚士(ST)年間総単位数(摂食機能療法1.5単位換算)	-	-	24,008	2,213	2,295	2,338	24,008	-	-	① 訓練以外業務の効率化を図り、訓練時間を拡充する。	① 同左	① 訓練以外業務の効率化を図り、訓練時間を拡充する。			
★	★	32	リハビリ評価料算定の向上	1	リハビリ総合実施計画書算定数	-	1,026件	1,300件	123件	111件	111件	1,300件	-	-	① リハビリ総合実施計画書算定数を1,026件→1,300件	① -	① リハビリ総合実施計画書算定数を1,300件→未定のため据置き	リハビリテーション室	診療局、回復期リハビリテーション病棟	竹内誠 中里秀樹
★	★	33	栄養指導件数の増加	1	腎臓病集団栄養指導件数	-	-	24件	0件	0件	3件	30件	-	-	① 腎臓病集団栄養指導のシステム構築 ② 定期的な実施	① 腎臓病入院集団栄養指導システムの構築 ② 6月より実施開始	① 定期的な実施	栄養管理室	診療局、看護局	竹内誠 杉本紀美子
				2	胃術後分割食喫食患者の退院後外来栄養指導件数	-	-	24件	0件	0件	1件	30件	-	-	① 外来栄養指導のシステム構築 ② 胃切除・胃全摘バスへ、退院後の栄養指導依頼を追加 ③ 胃術後分割食喫食患者の退院後外来栄養指導実施開始【新】	① 胃術後分割食喫食患者の外来栄養指導のシステム構築 ② 胃切除・胃全摘バスへ、退院後の栄養指導依頼を追加、達成 ③ 胃術後分割食喫食患者の退院後外来栄養指導実施開始【新】	① 胃切除・胃全摘バス使用患者の退院後外来栄養指導の漏れない実施			
★	★	34	未収金対策の強化	1	弁護士名による督促件数	5件	0件	5件	0件	0件	0件	5件	① 弁護士名による督促案件の抽出(随時) ② 弁護士へ依頼(随時)	① - ② -	① 弁護士名による督促案件の抽出(随時) ② 弁護士へ依頼(随時)	① - ② -	① 弁護士名による督促案件の抽出(随時) ② 弁護士へ依頼(随時)	医事課		前田知史 勲使川原康詞
				2	回収率(当年度発生分)	76%	83%	83%	80%	88%	75%	83%	① 窓口での保険証確認の徹底 ② 新たな督促方法の検討、実施 ③ 未収金調定管理の改善、効率化	① 同左 ② - ③ -	① 窓口での保険証確認の徹底 ② 新たな督促方法の検討、実施 ③ 未収金調定管理の効率化	① 同左 ② - ③ -	① 窓口での保険証確認の徹底 ② 新たな督促方法の検討、実施 ③ 未収金調定管理の効率化			
★	★	35	人間ドック・健診の充実	1	人間ドック件数	1,100件	1,200件	1,210件	35件	59件	116件	1,220件	① 一般健康診断や人間ドック等の受入枠の増加を図る。 ② 各検診および人間ドック料金設定価格の見直し検討	① 同左 ② 同左	① 一般健康診断や人間ドック等の受入枠の増加を図る。 ② 各検診および人間ドック料金設定価格の見直しを検討する。	① 同左 ② 同左	① 一般健康診断や人間ドック等の受入枠の増加を図る。 ② 各検診および人間ドック料金設定価格の見直しを検討する。	医事課	健康管理センター、保険年金課(市)、健康推進課(市)	河瀬孝順 佐藤孝佳
				2	乳がん検診受診者数	800人	924人(内、市民病院544人)	850人	-	-	85人(内、市民病院47人)	900人	① 受診率向上のための連携・効果的施策の検討 ② 8月40歳50歳60歳65歳の方への未受診勧奨 ③ 9月40歳以上56歳までの方への未受診勧奨【新】	① 同左 ② 同左	① 各医療機関等へのポスター掲示等。 ② 国立がん研究センターとNHKガッパン！番組とのコラボ企画による受診勧奨へ応募、8月勧奨予定。	① 同左 ② - ③ -	① 40歳以上の方に2年に1回実施しているが、受診率向上のため、連携を図りながら、効果的施策を検討していく。			
				3	特定健診受診率(計画は法定値、実績は暫定値)	41.0%	39.5%	42.0%	-	-	-	43.0%	① 受診券・パンフレットを対象者に郵送し特定健診を周知 ② はがき・電話等による受診勧奨 ③ 健診を受けやすい環境整備	① 同左(5月) ② はがきによる受診勧奨(8月)・電話による受診勧奨(11月) ③ がん検診特定健診のセット検診を実施(9月)・集団健診を実施(12月)	① 受診券、パンフレットを対象者に郵送し、特定健診の周知を行う。 ② はがき、電話等による受診勧奨。 ③ 健診を受けやすい環境を整備する。	① 同左(5月) ② - ③ -	① 受診券、パンフレットを対象者に郵送し、特定健診の周知を行う。 ② はがき、電話等による受診勧奨。 ③ 健診を受けやすい環境を整備する。			

津島市民病院新改革プラン実行計画進捗表

※達成率は小数点第2位四捨五入、①件数増加目標指標は上半期件数/年間計画件数、②件数減少目標指標は100+(目標-実績)/目標×100、③件数指標以外(%指標等)は個別算定とする。

資料④

取組事項No.	取組事項	指標No.	指標名	達成指標(計画・実績)							活動内容(計画・実績)					担当部署	関連部署	実行責任者 実行担当者			
				29年度計画	29年度実績	30年度計画	30.4実績	30.5実績	30.6実績	31年度計画	29年度計画		29年度間(4月～3月)の具体的な活動実績		30年度計画				30年度6月末までの具体的な活動実績	31年度計画	
				★	36	1	薬剤関連診療報酬算定の向上	10,000件	12,277件	11,000件	784件	1,022件	1,001件	12,000件	①調剤業務の効率化 ②院外処方利用の推進 ③薬連携の推進				①同左 ②継続 ③継続	①調剤業務の効率化 ②院外処方利用の推進 ③薬連携の推進	①同左 ②同左 ③同左
★	37	1	後発医薬品への切り替え	80.0%	81.8%	90.0%	81.3%	85.0%	86.2%	90.0%	①数量シェアの確認 ②後発医薬品切替え検討(年1回) ③後発医薬品切替え ④他院とのベンチマーク	①同左 ②年2回へ修正 ③同左 ④同左	①数量シェアの確認 ②後発医薬品切替え検討(年2) ③後発医薬品切替え ④他院とのベンチマーク	①薬事委員会において月次後発医薬品割合の確認 ②③後発医薬品への切り替え対象薬品の検討 ④一部薬剤について、他院における後発医薬品の採用状況確認	①数量シェアの確認 ②後発医薬品切替え検討(年2) ③後発医薬品切替え ④他院とのベンチマーク	経営企画課	診療局、薬事委員会、保険年金課(市)	吉田浩 成田祥子			
		2	市国保被保険者における後発医薬品使用割合	70.0%	72.4%	72.0%	75.0%	未算定	未算定	74.0%	①国保加入者への後発医薬品差額通知発送(年2回) ②後発医薬品希望シール配布(国保加入手続き時・保険証更新時)	①同左(5月798人)(11月934人) ②同左	①年2回、後発医薬品差額通知を国保加入者に発送する。 ②国保加入手続き時や、保険証更新時に後発医薬品希望シールを配布する。	①同左(5月:863人) ②同左	①年2回、後発医薬品差額通知を国保加入者に発送する。 ②国保加入手続き時や、保険証更新時に後発医薬品希望シールを配布する。	保険年金課(市)					

(4) 経費削減・抑制対策

★	38	1	薬品費の削減	平均以下	他病院値引率14.54% 当院値引率15.05%	平均以下	-	-	-	平均以下	①ベンチマークによる他病院との比較	①ベンチマークによる他病院との比較を行った	①ベンチマークによる他病院との比較	①ベンチマーク参加の準備	①ベンチマークによる他病院との比較	管理課	診療局、薬事委員会	渡邊幸成 加藤雅一
		2	価格交渉による削減額	2,000,000円	4,777,915円	2,000,000円	0円	0円	0円	2,000,000円	①価格交渉	①上半期と下半期の価格交渉により、年間で約480万円削減した。	①価格交渉を実施する	①購入情報の精査等価格交渉の準備	①価格交渉を実施する			
★	39	1	材料費の削減	500,000円	1,503,801円	500,000円	0円	0円	0円	500,000円	①価格交渉	①10月に再度の見積徴収を行うとともに、新規業者を参入させることにより約150万円削減した。	①価格交渉を実施する	①購入情報の精査等価格交渉の準備	①価格交渉を実施する	管理課	診療局、看護局、診療技術局、備品・材料選定委員会	渡邊幸成 加藤雅一
		2	材料品目の統廃合	品目の精査	-	品目の精査	購入実績把握	購入実績把握	購入実績把握	品目の精査	①単価契約品目の精査 ②各部署との調整	①使用中止材料の削除等を行ったが、新規材料の追加により品目の統合、品目数の削減には至らなかった。 ②-	①単価契約品目の精査 ②各部署との調整	①使用実績の無い品目の絞り込み ②未実施	①単価契約品目の精査 ②各部署との調整			
		3	物品コスト削減(検査関連)	20品目	10品目	20品目	0品目	0品目	0品目	20品目	①使用状況確認 ②用途と相談しながら納入価を交渉	①使用状況確認 ②用途と相談しながら納入価を交渉	①使用頻度の少ない備品の検討	①採血管の変更を交渉中	①個々の物品で交渉する	臨床検査室		竹内誠 勝田孝典
		4	試薬コスト削減(検査室関連)	30項目	31項目	30項目	0項目	1項目	0項目	30項目	①使用状況を見て使用頻度の高いものから納入価交渉 ②使用状況を見て使用頻度の高いものから納入価交渉	①使用状況を見て使用頻度の高いものから納入価交渉	①使用頻度を含め生産性に合わない項目の洗い出し・外注への検討。	①試薬削減済み、一部試薬交渉中。	①個々の試薬で交渉する			
★	40	1	委託費の削減	予算執行率100%以下	110.0%	前年予算比100%以下	8.0%	16.0%	24.0%	前年予算比100%以下	①ごみなどの単価契約の実績チェック ②ごみ減量の啓発活動	①ごみ排出時の立会実施による数量・内容の確認 ②院内周知(排出量の推移により12月5日付け実施)	①ごみなどの単価契約の実績チェック ②ごみ減量の啓発活動実施	①ごみ排出時の立会実施による数量・内容の確認 ②-	①ごみなどの単価契約の実績チェック ②ごみ減量の啓発活動実施	管理課	全部署	渡邊幸成 加藤雅一
		2	契約内容の見直し	見直しを行う	-	見直しを行う	30年度契約締結	業務実績確認	業務実績確認	見直しを行う	①契約内容のチェック ②契約仕様書の見直し検討 ③契約方法、期間の検討	①同左 ②実態に合っているか検討した ③次年度に向け検討した	①契約内容のチェック ②契約仕様書の見直し検討 ③契約方法、期間の検討	①、②、③平成30年度の契約において、医療機器の保守においてディーラーとはなくメーカーと直接契約するなど、現状でできることは実施した。来年度の契約に向け、引続き検討を続ける。	①契約内容のチェック ②契約仕様書の見直し検討 ③契約方法、期間の検討			
★	41	1	給与費の削減	前年度比△10%	△19	月60時間以上の時間外勤務職員数0人	3	3	0	月60時間以上の時間外勤務職員数0人	①フイールドイノベーションを活用した業務の見直し ②作業手順の見直しによる業務の効率化 ③ワークライフバランスの推進	①同左 ②時間外勤務削減に対する認識を共有 ③-	①フイールドイノベーションを活用した業務の見直し ②作業手順の見直しによる業務の効率化 ③ワークライフバランスの推進(平成29年度の時間外勤務時間数を維持したまま、業務の偏りを無くす)	①同左 ②同左 ③同左	①フイールドイノベーションを活用した業務の見直し ②作業手順の見直しによる業務の効率化 ③ワークライフバランスの推進(平成29年度の時間外勤務時間数を維持したまま、業務の偏りを無くす)	管理課	全部署、人事秘書課(市)	古田正人 渡邊幸成
		2	病院手当の見直し進捗状況(再掲)	-	-	全部改正例規改正	-	-	-	適宜見直し	-	-	①現行の支給内容の見直し ②病院手当の例規整備	①検討中 ②-	①制度の見直し(必要に応じ)			
★	42	1	ESCO事業の活用	-	-	5回	-	-	-	5回	-	-	①市役所担当部署とESCO事業に関する調整実施 ②ESCO事業の対象範囲と経費削減額の試算 ③ESCO事業計画の策定	①- ②- ③-	①ESCO事業実施	管理課	生活環境課(市)	渡邊幸成 加藤雅一

津島市民病院新改革プラン実行計画進捗表 ※達成率は小数点第2位四捨五入、①件数増加目標指標は上半期件数/年間計画件数、②件数減少目標指標は100+(目標-実績)/目標×100、③件数指標以外(%指標等)は個別算定とする。

資料④

取組9 重要項目	取組3 重要項目	取組事項 No.	取組事項	指標 No.	指標名	達成指標 (計画・実績)						活動内容 (計画・実績)					担当 部署	関連 部署	実行 責任者 実行 担当者	
						29年度 計画	29年度 実績	30年度 計画	30.4 実績	30.5 実績	30.6 実績	31年度 計画	29年度計画	29年度間(4月～3月)の 具体的な活動実績	30年度計画	30年度6月末までの 具体的な活動実績				31年度計画
						5 点検・評価・公表等														
★	★	49	効果的な 広報戦略	1	クローバーテレビ等の 取材件数	5回	5回	12回	1回	1回	1回	12回	① マスコミへの情報発信	① 同左(クローバーテレビに取材協力 依頼、病院のイベントスケジュール連 絡)	① マスコミへの情報発信	① 同左	① マスコミへの情報発信	管理課	全部署、シ ティプロ モーション 課(市)	渡邊幸成 栗山燕子
				2	他市町村からの当 院ホームページリンク 数前年比増加数	2箇所	0箇所	2箇所	0箇所	0箇所	0箇所	2箇所	① 近隣自治体へのリンク依頼	① 情報取集中	① 近隣自治体へのリンク依頼	① -	① 近隣自治体へのリンク依頼			
				3	市広報誌によるPR	12回	12回	12回	1回	1回	1回	12回	① 新規病院PR記事掲載 ② 「わたしのカルテ」継続掲載 ③ 「院長コラム」継続掲載	① 病院をQ&A方式で紹介する記事 掲載(9月から) ② 同左 ③ 同左 ④ 特集記事の掲載(9,11、12、1、2 月)【新】	① 新規病院PR記事掲載 ② 「わたしのカルテ」継続掲載 ③ 「院長コラム」継続掲載 ④ 「病院を知ろう」継続掲載	① 同左(5月から) ② 同左 ③ 同左 ④ 同左	① 病院PR記事継続掲載 ② 「わたしのカルテ」継続掲載 ③ 「院長コラム」継続掲載			
6 その他																				
		50	接遇能力 の向上	1	接遇研修回数	5回	4回	5回	1回	-	-	5回	① 新規採用職員の接遇研修 ② 中途採用職員の接遇研修 ③ 職員全体研修	① 同左(オリエンテーション・フォロー アップ研修) ② - (中途採用者なし) ③ -	① 新規採用職員の接遇研修の実施 ② 中途採用職員の接遇研修の実施 ③ 職員全体研修の実施	① 新規採用職員の接遇研修を4月に 実施 ② - ③ -	① 新規採用職員の接遇研修の実施 ② 中途採用職員の接遇研修の実施 ③ 職員全体研修の実施	管理課	全部署	渡邊幸成 栗山燕子
				2	接遇チェックリストの 作成、活用	チェック リスト 完成 セルフ チェック 実施	-	チェック リスト完成 セルフ チェック 実施	-	-	-	適宜見 直し セルフ チェック 実施	① 接遇チェックリスト作成 ② 職場内でのセルフチェック	① 素案作成、患者サービス推進委員 会で検討中 ② -	① 接遇チェックリストの見直し ② 職場内でのセルフチェック	① 患者サービス委員会で検討中 ② 随時実施	① 接遇チェックリストの見直し ② 職場内でのセルフチェック			
		51	利用者に やさしい病 院づくり	1	外来患者満足度調 査結果(やや満足 を除く)	50.0%	43.0%	60.0%	-	-	-	70.0%	① 患者アンケート ② ご意見箱の設置	① 12月実施 ② 同左	① 患者アンケート実施 ② ご意見箱の設置	①- ②同左	① 患者アンケート実施 ② ご意見箱の設置	患者サー ビス委員 会	全部署	安江穂 寺川遼
				2	入院患者満足度調 査結果(やや満足 を除く)	60.0%	63.0%	70.0%	-	-	-	80.0%	① 患者アンケート ② ご意見箱の設置	① 11月実施 ② 同左	① 患者アンケート実施 ② ご意見箱の設置	①- ②同左	① 患者アンケート実施 ② ご意見箱の設置			
				3	院内イベント年間開 催数	4回	4回	4回	0回	0回	0回	4回	① 院内イベント(病院まつり、七夕、ク リスマス、さくら)	① 7月七夕まつり、10月病院まつり、 12月クリスマス、3月さくら	① 院内イベント(七夕、さくら、病院ま つり、クリスマス)	①-	① 院内イベント(七夕、さくら、病院ま つり、クリスマス)			